

# 城北



平成 30 年 9 月 1 日 現在	
総世帯数	3,703
総人口	7,783
男	3,703
女	4,080

## 城北の 石碑 田町小学校石碑

白雲うかぶ 青い空  
桜の道を 元氣よく  
朝夕かよう 僕たちだ  
赤いレンガの校門よ  
たのしい 田町小学校

昭和 38 年 3 月 13 日 田町小学校  
校廃校式が行われ「赤いレン  
ガ」の校歌が講堂に響き渡り  
ました。そして、その歌声は  
次第に小さくなり、最後は涙  
声になっていました。

田町小学校は、この 4 月か  
ら隣りに越してきた開智小学  
校に統合され、53 年の歴史に  
幕を閉じることになったから  
です。

田町小学校は、明治 43 年 6  
月に、児童数 1360 人、23  
学級、職員 27 人で松本尋常高  
等小学校田町部校として発足  
しました。

校門は東の新田町側（現城

北公民館正面）に造られ、校  
歌に歌われるようにレンガ造  
りでした。

大正 7 年になって小学校令  
が改正されました。しかし、  
松本市では開智部校を本校と  
する一校多部校制が教育上好  
ましいとし、田町部校が名実  
ともに田町尋常小学校として  
独立校になったのは昭和 10 年  
でした。

### 戦後は……

時は流れ、開校 45 年を迎え  
た昭和 29 年頃から、老朽化し  
た校舎を建て替え、新しい校  
舎で 50 周年を迎えたいとい  
う声や PTA を始め同窓会や町  
会長会などから出され、請願  
書や陳情書になって市当局に  
提出されました。

そうした折り、伊勢町にあ  
る開智小学校も女鳥羽川の拡



幅工事にともない、移転・改  
築が喫緊の課題になり、校地  
の選定が始まっていました。  
そして昭和 37 年 6 月になっ  
て教育委員会から田町・開智  
の小学校長に  
◎昭和 38 年 4 月 1 日に両校を  
統合すること  
◎新校舎は沢村の信大病院跡  
地（現開智学校地）にする  
こと

### 終戦記念

## 暗い 小中学生時代を語る

間では開智が松本の代名詞に  
なっている」などと説得に当  
たりようやく了承を得まし  
た。  
跡地には、城北公民館・福  
祉ひろばが建てられ地区住民  
の活動拠点になっていて、玄  
関脇の記念碑が静かに見守っ  
ています。

◎校名は「開智」にすること  
などが告げられました。  
統合によって田町の校名が  
なくなると聞いた PTA や同  
窓会の関係者から、統合され  
るのは開智の方だなどの声か  
があり、校長や PTA 会長ら  
が町会を回り「教育関係者の

した。  
満州事変に始まった 15 年戦  
争は学校教育も戦時体制に組  
みこまれ、校門近くの奉安殿  
での最敬礼・神社参拝が課せ  
られ、体操時間の武道が小学  
校の必修科目となりました。  
大島さんは昭和 15 年、希望  
にもえ入学した中学では、軍  
人精神を叩きこむ配属将校の  
厳しい教練、千葉での海洋訓  
練・穂高の有明原開墾が待っ  
ていました。太平洋戦争が激



終戦の日を前に 8 月 10 日、  
蟻東公民館で町内高齢者の会  
『蟻東だべり会』が「私の小  
中学生時代」と題した入山辺  
の大島正人さんの講演会を開  
催し、経験された戦時下の皇  
民教育・軍事訓練・学徒動員・  
勤労奉仕などについて聞きま  
した。  
一億玉砕を覚悟した昭和 20  
年 8 月 15 日、無条件降伏を告  
げる玉音放送が全国に流れま  
した。

その日は小学生時代に始ま  
る戦争の惨劇から解放された  
日でした。真夏の太陽の新鮮  
なまぶしさがそれを象徴して  
いた。と大島さんは結びまし  
た。参加者の一人は「私は孫  
達にあの頃の辛い思いをもつ  
と真剣に伝えねば」と話して  
いました。

# 子どもたちの

# 夏休み

